

定例教育委員会会議録

(平成30年11月7日開催)

岡谷市教育委員会

定 例 教 育 委 員 会

日 時 平成30年11月7日(水)
午後1時30分
場 所 6階 605会議室
署名委員 小平委員、草間職務代理者

【 次 第 】

○ 開 会

○ 教育長報告

○ 議 題

1. 第3次岡谷市こども読書活動推進計画(素案)について 【別添資料】 (生涯学習課)
2. 岡谷市議会12月定例会の議案について 【非公開】 【別添資料】 (各課)

○ 報 告

1. いじめの認知件数について 【資料No.2】 (教育総務課)
2. 岡谷市教育委員会点検評価報告書について 【資料No.3】 (各課)
3. 岡谷市議会9月定例会一般質問要旨について 【別添資料】 (各課)

○ そ の 他

- ・行事等について(各課)
- ・その他

【次回開催予定】 12月12日(水) 定例教育委員会 9時30分 2階 202会議室

出席委員

教育長 岩本 博行、職務代理者 草間 吉幸、教育委員 太田 博久、教育委員 高木 千奈美、
教育委員 藤森 一俊、教育委員 小平 陽子

事務局(説明員)

教育部長 吉澤 洋人、教育部教育担当参事 三村 靖夫、教育総務課長 帯川 豊博、
教育総務課主任指導主事 竹内 良之、生涯学習課長 小池 秀昭、スポーツ振興課長 小河原 義友、
教育総務課統括主幹 山田 勝由紀、教育総務課主幹 小口 明彦、教育総務課主査 保科 圭吾

<会議録>

○開 会

岩本教育長： 皆さんこんにちは。大変ご多用中お集まりいただきありがとうございます。秋もすっかり深まってきて、過ごしやすい良い時期をむかえています。今日は、午前中にカノラホールで6年生の交歓音楽会がございました。私もお邪魔をして、子ども達の様子を見させていただきましたが、7校の6年生すべてが合唱或いは合奏をして、それぞれの学校が本当に心一つにして、一生懸命演奏をする姿がございました。見ていて本当に感動しました。そんな素晴らしい音楽会でした。演奏ぶりも素敵でしたし、そして、聴くという姿勢も大変良くて、それもまた嬉しいことだなあと考えております。素晴らしい音楽会ができた6年生ですけども、残り5ヶ月ということで、なんとか優秀の美を飾っていただいて、また希望と夢を持って中学校へ進学してくれたらいいなあと願っています。

交歓音楽会につきましては、市長さんや教育委員さんにも是非見ていただくといいなあとつくづく思いましたので、来年度からはそんなことも考えていきたいと思っております。

それでは、只今より定例教育委員会を始めたいと思います。本日の署名委員は小平委員さんと草間職務代理者さんをお願いいたします。最初に私から教育長報告をさせていただきます。

○教育長報告

本日は、それぞれの課から報告をさせていただきます。

1. 岡谷市いじめ問題対策調査委員会について

この「岡谷市いじめ問題対策調査委員会」は、平成29年12月15日に制定した「岡谷市いじめ問題対策連絡協議会等条例」に基づき、常設する一つの委員会となります。

去る10月25日に、弁護士、医師、臨床心理士、社会福祉士、精神保健福祉士からなる5名の委員さんに出席いただき、初めての会議を開催いたしました。

この委員会は、「いじめの防止等のための対策を実効的に行うための調査研究や重大事態に係る調査等を行う」ことを目的とし、教育委員会の附属機関として設置をされております。

この度の会議においては、岡谷市の現状についてご報告申し上げ、委員の皆様よりご意見等をいただきました。

その中では、「委員5名では、いざ重大事態が発生した際に調査等を行うのは大変。ぜひ市職員のスタッフ体制を検討してほしい」とか、「発達障がいを持った児童生徒が加害者・被害者となる場合を考慮し、学校の特別支援教育コーディネーターをいじめ問題対策連絡協議会のメンバーに入れてはどうか?」といった、いじめに関わる組織の構築に係る意見のほか、法律、医療、福祉など委員の皆様のご各分野での豊富な経験を元に、いじめの未然防止や早期対応への具体的な意見をいただきました。

今回の会議で出された貴重な意見を踏まえ、より一層いじめの未然防止・早期対応に尽力するとともに、重大事態につきましては、「疑い」が生じた段階ですみやかに調査を開始できるよう、市長部局との連携も含めた協力体制等について検討して参りたいと考えております。

2. 図書館について

先月27日、28日の二日間にわたり、「としょかん子ども読書まつり」を開催いたしました。

初日の土曜日は、朝から小雨が降る中、子どもたちが集まってもらえるか心配したところではありますが、オープニングには約30人の子どもやお母さん方が集まり、途中からも徐々に人数も増えだして、会場がほまほまいっぴいになりました。

会場の入口には、小平委員さんが指導されたという小井川小のイラストクラブによる、読書にかかわるチョークアートの展示があり、雰囲気を盛り上げていただきました。

また、オープニングには、藤森委員さんの絵本の読み聞かせ、2日目には高木委員さんの「岡谷おはなしの会」

による人形劇など、読書にかかわる多くのボランティア団体や学校などの協力をいただき、無事に開催できましたことに、あらためて感謝を申し上げます。また同時に、子どもたちのうれしそうな顔を見ながら、子どもの読書活動をもっともっと充実していきたいという思いを一層強くしたところでもあります。

今日は、このあと「第3次岡谷市子ども読書活動推進計画」の素案につきまして、議題とさせていただきますので、是非忌憚のないご意見を頂戴できればと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

3. 第73回国民体育大会 岡谷市関係出場者の成績について

9月29日（土）から10月9日（火）にかけて、福井県において開催されました第73回国民体育大会（福井しあわせ元気国体）の、岡谷市関係出場者の成績について報告をさせていただきます。

大会には、ボート競技、バレーボール競技、体操競技、バスケットボール競技、自転車競技、卓球競技、フェンシング競技、水泳競技、弓道競技、ゴルフ競技の10競技へ、選手29名、監督4名、監督兼選手1名、支援コーチ3名の計37名が参加いたしました。

このうち、入賞した競技は、ボート少年男子舵手付きクオドルプル県選抜チームが、岡谷南高校の小林怜矢選手、岡谷東高校の武居俊樹選手を含めたメンバーで4位。

バレーボール少年男子、松本国際高校が3位。同じく成年男子、岡谷市役所の栗木勇選手がVC長野チームで出場し5位。

バスケットボール成年男子、岡谷市民病院の岩垂佑貴選手が、県選抜チームで出場し3位。

自転車少年男子1000メートルタイムトライアルで、岡谷南高校の菊池岳選手が4位。

フェンシング 成年男子フルーレの県選抜として出場した河西遼太選手が8位となりました。

総合成績は、冬季大会の成績も合わせまして天皇杯は、最近20年間で最も上位の13位。皇后杯は11位で1991年以来の高い順位でありました。

入賞をされました選手の皆さんにお祝いを申し上げるとともに、選手の皆さんの今後のご活躍をお祈りするものであります。

4. 平成30年度生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体文部科学大臣表彰について

平成30年度生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体 文部科学大臣表彰の表彰式が10月5日（金）に東京都千代田区の中央合同庁舎で行われ、岡谷卓球連盟が生涯スポーツ優良団体として表彰されました。

岡谷卓球連盟は、昭和25年に設立され、多年にわたり卓球を通じて市民のスポーツ振興と体力の向上、卓球人口の拡大に多大な貢献をされております。

また、岡谷卓球連盟主催の各種卓球大会を開催し、オープン大会として長野県はもとより、県外からも参加者を募り、卓球競技の普及及び競技力の向上にご尽力いただいております。多年にわたるこうした功績から、（公財）岡谷市体育協会より推薦を行ったところ、今回の文部科学大臣表彰を受賞するはこびとなりましたのでご報告いたします。

5. 2027年第82回国民体育大会・第27回全国障害者スポーツ大会競技会場地第一次選定(内定)について

2027年に長野県内で開催が内々定しております、第82回国民体育大会、第27回全国障害者スポーツ大会に向けた県準備委員会の第3回総務企画専門委員会が10月17日に長野市内で開かれ、国体の競技別開催地の第一次選定案として、岡谷市では、卓球競技を市民総合体育館（スワンドーム）で行うと示されました。

一次選定案には、市町村と競技団体の要望が一致しており、市町村の要望が競合していない会場を中心に盛り込んだとのことでした。

岡谷市といたしましては、平成27年に策定いたしました「岡谷市スポーツ推進計画」において、スポーツ選手の競技力向上と市民のスポーツに対する意欲と関心を高めるため、国民体育大会をはじめとする全国大会、北信越大会等の招致を図ることを掲げております。

岡谷市のスポーツ振興を図る上では、大変貴重な機会でありまして、また、改めてスポーツの素晴らしさを知

る好機であるとともに、地域振興と岡谷市の発信など様々な相乗効果が期待できるのではないかと考えております。一次選定は、11月9日（金）に長野市で開催されます常任委員会において審議・内定となります。

2027年の開催に向けては、施設の改修や大会の準備等、大きな負担が想定されますが、大会の成功に向けて万全を尽くしてまいりたいと考えております。

岩本教育長： 以上、私からの報告とさせていただきます。ご報告申し上げた点について、何かご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。それでは、本日の議事に移りたいとお思います。

○議 題

1. 第3次岡谷市子ども読書活動推進計画（素案）について （生涯学習課）

岩本教育長： 議題1について事務局より説明をお願いします。

<事務局より第3次岡谷市子ども読書活動推進計画（素案）の概要について説明。>

岩本教育長： 今、事務局から説明がありましたが、ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

高木委員： 現状や皆さんの声などを非常に細かく載せて作ってくださっているの、どこをどんな風にしていったらいいのかという問題点をはっきりしていると思います。一つひとつの施策についても目標指数を掲げたりして、どんな風に施策を実施していったらいいのかという指標をはっきりしているので取り組みやすいのではないかなと思います。全体を通して見ると、原因から目標、そして、施策をどんな風にしていったらいいのかという流れがきちんとできているので、非常に分かりやすく作られていると思います。

小平委員： 今、高木委員さんが言われたように、大変見やすくできていると思います。第2次計画書の文章が多いという部分を改善されているのと、達成するための目標数値や具体的な案がしっかりと盛り込まれているような気がしました。あと、時代に即した内容というのは、とても考えているなあと思ひまして、良い取り組みだと思ったのがビブリオバトルなんですが、私は初めて聞いた言葉で、調べてみたら、とても有意義なんじゃないかなあと思ひましたので、これについて説明をお願いしたいと思います。

事務局： ビブリオバトルというのは、自分がお薦めする本の感想を交えながら皆さんの前で発表して、どの本を一番読みたくなったのかを投票制で決めるというものです。

小平委員： これは具体的にどこかで取り入れて、市内で行われていたりするのでしょうか。

事務局： 笠原書店が企画をして岡谷市内のレイクウォークで地区大会を開催しております。

小平委員： 図書館がただ受身的に本を読む場所ではなくて、本に対して色々な意見を交換ができたり、コミュニケーションの場として、子ども達がこういったことをやっていけば、コミュニケーション能力とかプレゼンテーション能力とかの向上にも繋がるので良い取り組みだと思ひました。

草間職務代理者： 基本目標について質問したいのですが、第1次、第2次の計画は、どちらかという子どもとか親子という言葉が出てくるんですが、今回はそういう言葉がなくて大きく変更されていますが、その経過を教えてください。

事務局： 第1次、第2次の基本目標の内容がおかしいという訳ではないんですが、基本目標に対する成果の出し方が、どちらかという過程に重きを置かれていまして、実際にどうなっているのかという成果が絞りがつかなかったのも事実です。第1次、第2次で掲げてきた基本目標をまったく無視するという訳ではなく、新たにもう少し目標の達成が分かり易い目標を掲げていながら、世情を鑑みて、新たな基本目標とさせていただきます。

藤森委員： 第3次の計画ということで、大変中身の濃い計画を作られていらっしゃるなあに関心をしたところでございます。目標があって、計画があって、実行していくという5か年の過程の中で、年度毎にPDCAサイクルを回しながら評価をして、改善していくということで、具体的な施策の中に数値目標を入れていただいているというのが、大変分かり易くてありがたいなあと思ひました。年度毎に振り返ってということですけども、本当にたくさんの施策がありあまして、一つひ

とつ年度単位ですべて検証されて、また、内容に基づいて翌年に生かしていくという形で捉えてよろしいでしょうか。

事務局： 第3次の計画は今までにない形にしました。今までの計画は、目標数値とかがなく、どうしても成果が見えなかった部分がありまして、それを数値化することによって年々の目標の達成状況がわかりますので、数値を入れたことが一番の特徴となっております。

藤森委員： 分かりました。我々の日常の仕事でも可視化、数値化ということが最近言われていまして、そういう形の中で携わる人達が具体的にイメージを持って取り組めるということがありますので、是非そういったところを上手くPDCAサイクルでやっていくということはずごく大事だと思いますので、成果の方もご期待申し上げたいと思います。

太田委員： 計画全体としては非常に良く練られた計画だと思いますので、まとめられた皆さんに敬意を表したいと思います。プロセスを存じ上げていないので、もしかしたらピントが多少ずれるかもしれませんが、計画策定の背景と趣旨の1行目に「子どもが読書をすることの必要性は、声を上げてなかなか伝わらないのが現状です。」と書いてありますが、私も実感としてそのとおりだと思います。基本的に読書は、基本目標の初っ端に「読書を楽しみながら」という言葉を入れたというところにも繋がってくると思いますが、本来読書は、楽しい、ためになる、役に立つという実感みたいなものが一番大事だと思っています。そのうえで、施策の中を拝見しても、施策そのものが啓発というよりは、情報提供であったり、場の提供だったりということが主眼になっていると思うので、あえて基本方針4のところ「読書の意義や大切さについて理解を深め関心を高めるための啓発」という言葉があるんですけども、どちらかというと趣旨と計画の全体を見させていただくと、理解を深め関心を高めるための啓発というよりは、大切さを実感する情報提供や場の提供というようなニュアンスの方が計画にも施策にも盛り込まれているような気がするもので、個人的には理解を深める啓発というよりは、実感をしていただく楽しさとか、実感していただくための情報提供や場の提供みたいな文言の方が、じっくりくるような気がいたします。

事務局： ありがとうございます。検討させていただきたいと思います。

高木委員： 読書活動ボランティアとしての立場から見ても、市民のボランティアに携わっている人達というのは、将来の子ども達のために働きたい、図書館に協力したいという気持ちがすごくあって活動していますので、今回の計画書の中では、ボランティアの人達の力を繋いでいって引き出すような場面がいくつも設定してござってあって、そういう意味で市民のボランティアの皆さんもやる気を持って協力して下さるのではないかなあとと思っています。私自身も、もっと図書館に協力して子ども達のために働くことができたらいいなあと感じましたので、とてもありがたいと思います。

草間職務代理者： 8ページの「おかやこども図書館」について質問をしたいんですが、この5か年計画の中で運営内容、場所の確保などの調査・研究していくとありますが、将来的には実現する方向で調査・研究をしていくのでしょうか。

事務局： 展望を付け加えたのは、現在の図書館の現状を踏まえて、昨日も監査の中で、学びの場とか発表の場というものや、横に市民病院があるので関係するものを図書館でやったらどうかというご意見をいただいたのですが、スペース的に苦しい状況もありますし、ご存知のとおり市の図書館は、静かに過ごす図書館となっておりますので、お母さん達が遠慮をして、子ども達を連れて来づらいうことを言われたりするものですから、子ども達のためにもっと自由に本に触れ合えるような機会について考えていかなければいけないのかなあとという部分もございます。これは5年後、10年後先を見据えてのもので、必ずしもこの5年間に実現させるとかそういったものではなく、思い描いていきたいものということで、載せさせていただいております。

草間職務代理者： お子さんのいる家庭にとっては、親と子どもが本に親しむのにとっても良い取り組みだと思いますので、なるべく今の図書館の中でそういうことができるような計画をお願いしたいと思います。

事務局： これについては、予算等も絡んできますので、調査・研究をしながら、将来的にはこういった風にしていきたいという希望は持っておりますので、よろしく願いいたします。

岩本教育長： こどものくにながりますよね。あそこに小さな図書館みたいなものがあるんですが、とても子ども達が良い顔をしてお母さんと一緒に本を読んだりしています。ああいう場がもっと図書館にもあってもいいのかなあと思います。本当に子ども達が小さい頃から本に親しめるための一つの場

を、しっかりと確保してあげることが必要なあとと思ひ、それを夢見ています。その夢が具現できるように、また皆さんのお力を借りながらもっていきたく思ひております。一応これは夢の段階なんですけれども、例えば、どこの場所に作つたらいいかとか、予算がどのぐらい必要なのかとか、具体的なことを考え合わせる中で、本当に可能かどうかということを見極めて、その調査・研究をしっかりと進めていきたいなあと思ひております。また、委員の皆さんもこんな子どもの図書館がいいなあとというアイデアを寄せていただければ、夢がもっと膨らむのかなあと思ひています。今日は素案ということでご意見をいただきました。さらにより良い推進計画にしてまいりたいと思ひますので、またご意見を寄せていただけたらありがたいなあと思ひております。それでは議題2に移りたいと思ひます。

2. 岡谷市議会12月定例会の議案について（非公開）（各課）

<岡谷市議会12月定例会の提出議案について事務局より説明し、承認される。>

岩本教育長： それでは、議題は以上でございます。次に報告事項に移りたいと思ひます。

○報告

1. いじめの認知件数について（教育総務課）

岩本教育長： 報告事項1について事務局より説明をお願いします。

<事務局よりいじめの認知件数について説明。>

岩本教育長： 今、事務局から説明がありましたが、ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

太田委員： 全体の件数については色々捉え方を変えたり、できるだけ早期にきちんと把握をすることが大事じゃないかということで、何年か前からそういう変更もあったりして、増えている部分もあると思ひますので、それは色々な捉え方があると思ひていますが、ちょっと気になったのは、小学校で「ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする」が1件、「金品をたかられる」が2件あったりして、以前はほとんどない状況だったので、全体の認知件数が増えているということ以上に、ちょっと深刻な内容かなあと思ひますが、この辺のところは解消ができていますでしょうか。

事務局： 深刻な部分ですので、これが重大事態に繋がらないように丁寧な対応が必要なあと思ひております。学校の方で保護者ともしっかりと話をしながら丁寧な対応をしていただいている状況です。

小平委員： パソコンや携帯をむかしとは違う状態で小さい子ども達が使っていて、親御さん達も把握しきれていないという話も聞きますけれども、学校の方では子どものネットの使用法について何か対策等はしているのでしょうか。

事務局： 子ども達の利用状況ですとか、所持状況というのは情報の担当の方で調査をして把握していると思ひますが、具体的にチェックをしたりするのは、先生方も難しいかなあと思ひます。保護者にご協力をいただいて、使い方を指導したり、PTAと連携をする中で、インターネットの使い方みたいなものを保護者同士で議論して、子ども達に対応していただくようお願いをしているような状況です。

小平委員： 地区のミニ集会とかに行きますと、親御さんから子ども達が何をやっているのかよく分からないという声がありますので、何か研修をするような場があればいいのかなあと思ひます。

岩本教育長： この前、県警のサイバー対策室から来ていただいて、先生達が研修をしました。具体的に専門家じゃないと分からないことがいくつかあるかなあと思ひますので、そういったことを情報としてPTAの皆さんにもお流しして、一緒になって子どものことを見守っていかねばいけないのかなあと思ひます。

認知件数については、色々なご意見があるのかなあと思ひますが、私共は、これは子どもが発

するSOSの認知件数という捉えの中で小さな芽を見逃さない。そういう認知をしていかなければいけないということで始まっていますので、これからも各学校でしっかりとアンテナを高くして子ども達の様子を見て、少しでも気懸かりなことがあったら、こちらに報告をいただくということで、子ども達を見守っていきたいと思っております。それから、ここに解消しているものがありますが、今日も報道で大変悲しい自死があった訳ですが、解消したと思いきや、そこが一番危ないことかなあと思っております。解消したのは、あくまでも表面的なものではないかなあという目で見ると必要もあるし、本当にその後どうであるかという追跡調査といいますか、フォローをやるのがそういった悲しい出来事に繋がらない大事な要素ではないかなあ思っております。私共は、単にこれで解消したということで終わりとは考えておりません。もう一度リスタートして子ども達の様子をしっかりと見ながら応援をしていく。そういうこともしていかなければいけないかなあと思っております。いずれにしても、いじめということが相変わらず全国では、悲しい結果として事件が起きていることは事実でありますので、岡谷市でも大事にしていきたいと思っております。

それでは、報告事項2に移りたいと思います。

2. 岡谷市教育委員会点検評価報告書について (各課)

岩本教育長： 報告事項2について事務局より説明をお願いします。

<事務局より岡谷市教育委員会点検評価報告書について説明。>

岩本教育長： 今、事務局から説明がありましたが、ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。それでは、報告事項3に移りたいと思います。

3. 岡谷市議会9月定例会一般質問要旨について (各課)

岩本教育長： 報告事項3について事務局より説明をお願いします。

<事務局より岡谷市議会9月定例会一般質問要旨について説明。>

岩本教育長： 今、事務局から説明がありましたが、ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。それでは、次にその他ということで、事務局からお願いします。

○その他

- ・行事等について (各課)

<各課より行事予定について説明>

- ・その他

岩本教育長： それでは、事務局より次回の開催予定についてお願いします。

<次回開催日の調整>

岩本教育長： それでは以上をもちまして、11月の定例教育委員会を終了とします。

終了15時20分

岡谷市教育委員会会議規則第23条により署名する。

平成30年12月12日

教 育 長 岩本博行

署 名 委 員 小平陽子

署 名 委 員 草間吉幸

調 製 職 員 吉澤洋人